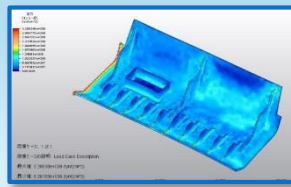


～樹脂流動解析を効果的に活用する方法～

ご案内

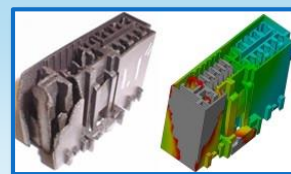
樹脂流動解析の必要性や有効性をご理解して頂くために、活用方法をご紹介するセミナーを開催しております。今回は、構造解析との連成、化学発泡における課題の解決やMoldflow2017による効果的な活用方法についてご紹介いたします。

セミナー内容



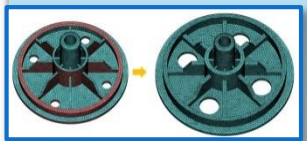
第1部 成形プロセスを考慮した構造解析の必要性

正確に樹脂製品の強度を予測するためには、射出成形プロセス(樹脂流動)による繊維配向などの物性値のばらつきを考慮する必要があります。樹脂流動結果の考慮有無による製品強度の比較など、実際に樹脂流動解析と構造解析のデモを行いながら、ご紹介いたします。



第2部 発泡成形(MuCell/化学発泡)の課題を解析により解決

最新バージョンMoldflow2017では、化学発泡成形に対応しました。既存解析機能であるMuCell解析は、熔融樹脂への超臨界流体(SCF)注入が物理的であることが前提でしたが、Moldflow2017では化学発泡剤(CBA)に対応しました。発泡成形解析の機能や解析フローを、解析デモとあわせてご紹介いたします。



第3部 樹脂流動解析の効果的な活用・運用方法

最新バージョンMoldflow2017の機能紹介を解析デモとあわせてご紹介いたします。Moldflow2017では、メッシュモデルをダイレクトに編集し形状修正が可能になりました。Moldflow2017を開発初期段階から活用することで、解析時間を短縮しタイムリーに解析結果を開発にフィードバックさせ、低コストで高品質な製品の実現が可能になります。

開催要項

開催日時	大阪：2016年6月28日(火) 東京：2016年6月30日(木) 13:30～16:30 (受付開始13:10)
開催場所	大阪：株式会社計算力学研究センター 大阪支店 〒550-0013 大阪市西区新町1-3-12 四ツ橋セントラルビル 6F会議室 東京：株式会社計算力学研究センター 東京本社 〒142-0041 東京都品川区戸越1-7-1 戸越NIビル 8Fセミナールーム
参加費	無料 (事前申込制)
定員	15名 *各会場共に定員に達した時点で締切させていただきます。

お申し込み方法

セミナーの詳細内容、お申し込みは弊社ホームページよりお願い致します。

<https://www.rccm.co.jp/seminar/1443.html>

*同業他社様からのお申し込みは、参加をお断りさせていただきます。

*掲載内容は、変更する場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

定員に達した時点で締切させていただきますので、お早目にお申し込みください。

株式会社 計算力学研究センター

Research Center of Computational Mechanics, Inc.

<http://www.rccm.co.jp>

E-mail:office@rccm.co.jp

□ 東京本社

〒142-0041 東京都品川区戸越1-7-1 戸越NIビル
TEL:03-3785-3033 FAX:03-3785-6066

□ 大阪支店

〒550-0013 大阪市西区新町1-3-12 四ツ橋セントラルビル203B
TEL:06-6539-7677 FAX:06-6539-7678